

AWAJI
PRESS

45th Anniversary

周年に向かって!!



2007年度又ローガン

確かめよう 淡路の礎
そして45回目の変革

2007 vol.4



Contents

- 理事長雑感 2
- 多岐一交歴代インタビュー 3
- セクシタリーのつぎやぎ 4
- 事業報告・事業告知 5
- 淡路島ラベル通信vol.3・編集後記 6

JCI 社団法人 淡路青年会議所

www.awaji-jc.or.jp





2007年度理事長
木下 学

雑感

今週の日曜日にお弁当屋の前を通ると「本日のお弁当はございません。」何かと尋ねるとお花見のお弁当でそれ以上は手が回らないとのこと。曲田山や論鶴羽ダムなどの桜の名所は大変な賑わいであったようです。我が社の玄関先では燕が巣づくりを始め、また、世間では新年度、新入生や・新入社員がフレッシュな風を吹かせています。いよいよ春本番であります。

さて、3月を振り返ってみますと何と言ってもOBの皆様との3月合同例会で諸先輩方にお世話になりました。新年会を上回るOBの皆様の出席、そして5名のチャーターメンバーのご参加に身が引き締まる思いでした。当日は現役メンバーが先輩諸兄より多くのアドバイスを頂いたことに対し心より感謝申し上げます。あとは私共現役がそれを体現化し成果を得ることで先輩方にお返しをさせていただければと考えています。当日、企画・設営いただきました例会委員会の皆さん、そして45周年企画委員会の皆さん、お疲れ様でした。

そして23日には前期の入会説明会があり16名の候補者の皆様にお越しいただきました。廣井委員長率いる委員会委員会の皆さんはもちろん、ご無理を申し上げ各委員会ごとにお願ひしました会員拡大担当メンバーの皆さんの頑張りが特に目立った今年の説明会であったと思えます。準会員に導けたのは5名ということで少し残念な結果となりましたが、後期に向けてのスタートはもう始まっています。前期で築き上げたもの、また反省点をしっかりと生かし当初の目標を達成していきたいと思いま

す。3月が終わり礎を確認することが出来、戦うメンバーも揃いました。あとは「明るい豊かな淡路島」実現の為、行動するのみです。

話は変わりますが皆様もご承知の通り、先月25日に石川県能登半島沖で大地震が発生致しました。被災をされた地域の皆様に対して心よりお見舞いを申し上げます。12年前の兵庫県南部地震の折には全国の皆様から多大なる支援を頂きました。私共は何年経ってもその時お世話になった方々への感謝の気持ちは忘れてはならず、お困りの地域、困っている方がいらっしゃれば進んで助けようという気持ちを持たなければなりません。震災を風化させないことは来るべき大地震に対する備えだけでなく、様々な危機管理意識を高めることに繋がり、人に対する思いやりの心も育むと考えます。

冒頭にも申し上げましたようにいよいよ春本番です。準備も整いました。あとはメンバー一人一人が目標に向かって突き進むだけです。その中でお願いしたいことが1点ございます。当然の事ですがそれぞれの事業には対象とする相手が存在します。それは新入会員であったり、子供たちであったり、他LOMメンバーであったり、是非JCIの視点だけで事業を組み立てるのではなく、相手の立場にも立って事業を組み立てていただければと思います。そうすればより「おもろい」ものができるのではないのでしょうか。頑張りましょう！淡路島を全国に誇れる地域にするために…



前期入会説明



3月45周年記念合同例会

シリーズ「周年」
歴代インタビュー
vol.2

第35代理事長
谷村 誠
先輩

今年度、創立45周年を迎える社団法人淡路青年会議所。その45年間の歴史の中で周年の節目に理事長を経験された歴代に当時の思い出や周年について、そして現役メンバーへの熱い思いを語って頂きました。

Q. 第35代として節目の理事長になられて
素直にありがたかったですね。
節目の年の理事長に選んで頂いた事に感謝します。

余談ですが：私は淡路JCと年が一緒なんです、ちょうど35歳の時に35代に選んでもらって：ですから淡路JCの周年は決して忘れません！（笑）

Q. 周年の意義
朝起きておはようという挨拶であったり、誕生日にお祝いをするといったり全てにおいて節目はすごく大事ですね。その節目を大事にするというのはどういう事かという「足下を見直す時」でしょう。過去をふ

り返って見直す機会があるという事がとても大切に思います。

Q. 淡路青年会議所の本質
僕が現役の時言い続けてきた事で今も変わらない事ですが、JCの本質というのはやっぱり人間養成学校です。いろいろ抵抗もあると思いますが、いずれ40才で卒業させて頂いて、その後人としてその器を持って地域社会、仕事、全て含めてどうお返しをするか、その為の人間づくりと思うんですね。CD(コミュニティデイベロップメント)、LD(リーダーシップデイベロップメント)の両輪がありますが本質的にはLDだと思えます。だから自分達が成長させて頂いている中で感謝するという事を前提に、題材という物を持って

勘違いをする必要があります。僕達自身もよく大きな勘違いやと言われましたが逆に大きな勘違いをしようと思ってやってやりました。没頭したら大きな勘違いが出来るんですよ。

Q. 事業、修練とは
よく社長以上にその会社は大きくならないっていいですよ。では社長はどこで人間を磨くかといったら会社の中ではないと思います。社会的相互作用というのがあって人は相手に働きかけてその反応や応答によって能力を身につけて行きます。基本的に人の成長というのは人と人との関わり以外ないです。多様な関わりをしながら人間的な成長をしていくトレーニングが必要でしょう。そしてその中で成就感を味わう事が大事です。

人間の行動パターンで「事前の出来事」があつて「行動」があつて「事後の出来事」があります。電話が鳴る、電話をとる、いたずら電話だった、これが繰り返されていくと最後には電話に出なくなるのが普通です。何を言いたいかと言うと、人の行動は「事後の出来事」に影響されているという事です。日本の子供達にはよく損をしていると言われています。我慢しなさいといわれて我慢する、しかしその後が無い、反応が無いから我慢してしまうのがない：上司部下の関係も一緒に事後の出来事がプラスなのかマイナスなのか：その後ろ（事後の出来事）の部分

を意外に忘れやすいんです。だから現役の時に事業の後は絶対打ち上げをしようってよく言っていました。委員長・副委員長が前に立ってお礼といながらみんなに賞賛される場を持つことが必要です。後輩達がそれを見て、苦勞をしたらこんな楽しみがあるんや、浮かべられる場面があるんやって目で感じてもらう事が大事じゃないかなと思います。打ち上げの意味はそういう事なんです。たとえ失敗しても泣きそうならいやってきた訳ですから「事後の出来事」が悪かったらもうやめとこかって当然になりますよ。僕らの時は終わった時にみんな乾杯！っていう場面を想像してやっていますよ。下(フロアー)の時に思う節がいっぱいあって、次に自分が実際にやってみてどうかです。自分がやってみたらその時に成長させて頂いていると感じ、皆々さんに感謝すると思えます。

Q. 45周年を迎えるメンバーに対して一言をお願いします
個人がやっているわけではなくて、それを御旗にみんなが輝く年ですよ。ね。

頂きました。
当日は憧れの鳥創造委員会の柏木委員長も同行し、記事にはなっておりませんが他にも淡路JCの奥深くまでお話を伺う事が出来ました。谷村先輩ありがとうございました。

※文章では表現できない内容等があり、編集させていただいております。



Q. 淡路JCに対する熱い思いを、谷村先輩独自の言い方でわかってやすく語って

Q. インタビュー後記
淡路JCに対する熱い思いを、谷村先輩独自の言い方でわかってやすく語って



セクレタリーのつぶやき

兵庫ブロック協議会 地域のアイデンティティ創造会議
 に出向しております才花議長
 の3名のセクレタリーに近況
 報告と淡路JCI内では見られ
 ない出向先の才花議長の様子
 を語って頂きました。

兵庫ブロック協議会

地域のアイデンティティ創造会議

2007年度、才花議長のもと
 川本セクレタリーと前川セクレ
 タリーと共に『地域のアイデン
 ティ創造会議』に出向させて頂
 いております。公式訪問も終盤に
 しかかり、これから委員会が本
 格化して参ります。改めてこれ
 まで才花議長と共に過ごした
 時間を振り返ってみると、時
 間が経つのが早いことに驚か
 されます。

セクレタリー 池澄 泰彦

委員会も3回開催し、やつと
 委員会メンバーの顔と名前が
 一致してきました。顔を覚える
 のも大変ですが、『燃える男』
 才花議長を悩ませているのは、
 そんなことではなく、LOMご
 とに事業のやり方・考え方が
 違うことです。私もこれには
 衝撃を受けましたが、『燃
 える男』才花議長はこんなこ
 とは気にせず、社団法人淡路
 青年会議所の代表として熱い
 想いで、また、委員会メン
 バーにとって有意義な委員会
 になるように一歩も退かず、
 戦っております。委員会です
 として、



淡路が得意とする懇親会の席でも
 その想いを語っていたので、少
 ずつ議長の意見に賛同してく
 れる方も増えてきたと思いま
 す。しかし、委員会メンバーも
 LOMの副理事長クラスの方
 々が出向されているし、LOM
 代表として、委員会にも真
 剣に取り組んで頂いているの
 で、一筋縄では行きません。
 これからも才花議長が目指す
 とができるように、川本セクレ
 タリー・前川セクレタリーと
 共に一杯戦ってきたいと思
 っております。ご支援、ご協
 力のほどよろしくお願い致し
 ます。

セクレタリー 川本 康仁

今年度、才花議長とブロック
 会議に何回かお供をさせて頂
 き、改めて才花議長の人柄が
 見えてきました。初めて、セ
 クのお声をかけ

て頂いた頃は、私としては『非
 常に気難しい』というイメージ
 がありました。それまで余り関
 わりがなく、どちらかとい
 えばほとんど話しをしたこと
 もありませんでした。先入
 観からこんな印象があった
 のではないでしょうか。
 次年度から今年度を経て、
 会議やお酒の席、または車で
 移動をしている最中に様々
 な会話をしていると、新た
 な気づきがありました。まず
 は予想を遥かに超える『熱
 さ』でした。大変JCIが好き
 だ、人一倍楽しんでる姿が
 非常に無邪気で健気に思
 います。今年度の公式訪問
 は各地でLOM開催で合計
 13箇所で行われる予定で、
 そんな中で議長は『27LOM
 の公式訪問を行きたかった』
 と言われました。私は呆気
 にとられ、(マジで！ま
 いそうになりました。そして
 車で移動している時間も運
 転している私が退屈すること
 なく、運転をしている事を
 忘れてくらくらに、熱くJ
 CIの話を語って頂き、私の
 気持ちを駆り立ててくれま
 す。いつでもどこでもJCI
 モードに入り、それと仕事
 とJCIのスイッチを切り替
 えて進んでいく姿が立派に
 感じました。それとどちら
 かと言えれば余り派手さが
 なく、地味で素朴なように
 見え、私と同じく口下手
 で会議中に話しをしていま
 す。たまに何を言っている
 のかわからないときがあ
 るのですが、思いと情熱が
 伝わる、そんな議長の人柄
 が他の人を駆り立てる
 のでしょう。そして大
 変な気遣いをしていただ
 ける方で、一本気で厳
 しい面々の中でたまに
 見せる、『素朴で、ささ
 やかなやさしさ』が才花
 議長のカッコよさな結
 びつくのではないのか
 と思います。噛めば噛
 むだけ、味わいがで
 るそんな方だと、今回
 お供をさせて頂き感じ
 ました。

才花議長今年一年よろしくお
 願います。それと失礼な
 ことを書いてしまいま
 してすみません。怒
 らないでね！

セクレタリー 前川 肇

才花議長は皆さんもご存
 知の通り、根っからのJ
 CIマンです。自分の思
 いをブラす事なく、精
 神誠意を持ってJCIを
 愛しているのだと思
 います。私は才花議長
 とは同じ年ですが何
 一つ及ぶところがあ
 りません。人のふり
 見て我がふり直せと
 言いますが、才花議
 長と会話をするたび
 に自分も頑張ろう
 と思っております。

正直、才花議長のセクレ
 タリーをするまでは「
 才花さん、むずかし
 そうやな」なんて思
 っていたんですが、議
 長の事を理解する
 までには、それが温
 かく、人間味のある
 素晴



らしい男です。ロムメン
 バーで才花毅をまだ、
 それほど知らない方
 は、後四年しかない
 才花毅と深くかわ
 かって頂きたいと思
 います。さて、兵庫
 ブロックに出向して
 いる才花議長ですが
 セクレタリーの立場
 から見て本当にかっ
 こいい男とは才花議
 長の事を言うのだ
 と思います。委員
 会・公式訪問・懇
 親会にあたって
 も出向者メンバー
 一人一人に気配
 りをしており、雰
 囲気作りや意識
 の向上が出来る
 様にと熱く思
 っています。出
 向者28人い
 れば28色、温
 度差もあれば
 考え方も違
 う。その中
 でこの地域の
 アイデンテ
 ィティ創造
 会議を成功
 させ、2007
 年度兵庫ブ
 ロック協議
 会では淡路
 JCI才花毅
 ここにあり
 と名をど
 ころか
 せて頂
 きたい
 と思
 います。
 最後に、
 才花議
 長へ。た
 よりな
 いセクレ
 タリー
 ですが
 この一
 年間、
 最後ま
 まで宜
 しくお
 願ひ
 いた
 します。

事業報告

3月45周年記念合同例会報告

45周年企画委員会 副委員長 吉井 崇行
 去る3月14日、正会員と特別会員を対象に海月館にて45周年記念合同例会を行いました。多数の参加、誠にありがとうございました。

5年の記念合同例会は、緊張感のある中、開会し、真剣な眼差しで一言一句をしっかりと確かめようとする会員の姿勢が終始感じられました。過去5年間の活動に対し、第40代から第44代理事長に感謝状を贈呈の際には、5人の歴代理事長が胸を張って並ぶ姿勢から各年度、情熱と想いを持って真剣に取り組んでこられた姿を垣間見ることができました。

そして、淡路青年会議所の草創期をよく知り、地域のためにご尽力された第16代理事長の中川啓一先輩が「礎のもと」新しい輝きを」をテーマに記念講演をしてくださいました。活動において大事なものは形ではなく中身であることを伝えるとともに、私たち現役メンバー



1が受け継いで行くべき要素、そして、淡路島と淡路JCのあるべき姿をわかりやすく解説してください、メンバーのバイブルとなる講演でありました。例会後、先輩の講演で感銘を受けた現役メンバーは互いに講演の要点を確認し合い、個々の想いを熱く語り合ったり、さらにビデオでの講演記録を欲するメンバーが出るくらい反響がございました。

この度は、45周年企画委員会が例会の鍵となる部分を任せられ、運営させていただきま

至らぬ点は多々ございましたが、しっかりと反省し、今後の糧にして参りたいと存じます。運営にあたり、御指導、御鞭撻をいただきました先輩方々、誠にありがとうございました。

最後になりましたが、本年6月5日に45周年記念式典・祝賀会を開催致します。お世話になった方々に対してしっかりと感謝の意を伝え、より「絆」を深められるように、現役メンバー一同は全員で取り組んでいます。その際は大変お世話になります。何卒よろしくお願ひ致します。

前期入会説明会

去る3月23日淡路島観光ホテルにおいて「前期入会説明会」が開催されました。

当日は16名の入会候補者をお招きすることができました。私自身も例年以上に会員拡大に取り組んだつもりでしたが、そう簡単に事は運ばず、想像以上に行動力、忍耐力そして精神力が必要だったのではないかと感じております。

会員委員会 副委員長 原田 啓行

結果として仮入会が5名と当初の目標を下回ってしまい、委員長と共に悔しくも、力不足をひしひしと感じている訳ですが、特に拡大担当のメンバーの皆様には、候補者の選定から、勧誘、説得に至るまで大変なご協力を頂きましたことを感謝するとともに、一人ひとりのJCメンバーの大切さを改めて感じる事ができました。

今回得た良い経験や反省点を後期に向けて良い形でパトナタッチできたらと思っています。

そして、当日は多くのメンバーにご参加頂けました事を重ねて御礼申し上げます。

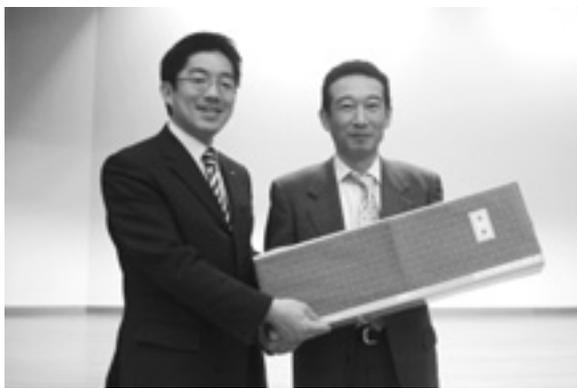


事業告知

新人会員歓迎ゴルフコンペ

4月5日(木) 洲本ゴルフ倶楽部におきまして、第1回ゴルフ同好会「新人会員歓迎ゴルフコンペ」が絶好のゴルフ日和の中行われました。今回は新入会員歓迎ということで、ゴルフに参加された新入会員の金崎君、出口君は、緊張したせいか普段通りの実力が発揮できず、次回こそはと意気込んでおりました。後の懇親会・表彰式をホテルニューアワジにて新入会員4名全員参加して行われ、優勝はグロス90ネット74(ハンデ16)の豊田強ゴルフ同好会会長が見事グリーンネクタイを勝ち取られました。今回は、6月に45周年記念ゴルフコンペを開催致しますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

45周年企画委員会 委員長 高津 知也



最後に参りましたが、本年6月5日に45周年記念式典・祝賀会を開催致します。お世話になった方々に対してしっかりと感謝の意を伝え、より「絆」を深められるように、現役メンバー一同は全員で取り組んでいます。その際は大変お世話になります。何卒よろしくお願ひ致します。

- 1位 豊田 強 先輩
- 2位 松本光之進 君
- 3位 島田 実 君

第13回わんぱく相撲淡路場所

青少年育成委員会 委員長 後藤 英範

来る5月5日(日) 午前11時より淡路市津名スポーツセンター相撲場におきまして、第13回わんぱく相撲淡路場所を開催させていただきます。

相撲という競技性の高いスポーツにおいて勝つことの喜びや負けることの悔しさを体験することで、これから子どもたちが突き進んでゆけるものだと思います。このように本大会では「ぶつかれ！強くなれ！」をテーマに子どもたちが勇気を抱けるような運営にしていきたいです。またメンバーの皆様にとっても、そんな子どもたちの真剣に相撲に取り組む姿は、純真な気持ちを感じることとなるでしょう。

当日は、これもこの日というお忙しい中とは思いますが、是非とも多くのメンバーの皆様と共に一生懸命相撲に取り組む子どもたちをサポートしていきたいと思います。是非とも、多数のメンバーの参加をよろしくお願いいたします。



確かめよう淡路の礎 そして45回目の変革
 2007年6月5日(火) 淡路JC 45周年記念式典



淡路島 フィルムオフィス通信

vol.3

憧れの島創造委員会

皆さん、こんにちは。淡路島フィルムオフィス事務局より最近の活動の一部をご報告させていただきます。

帯で昼ドラ！ 撮影に同行しました！

4月16日から毎日放送で放送されるお昼の連続ドラマ「暖流」よりご依頼をいただき、海沿いの山の中腹にある別荘をご紹介させていただきます。



撮影状況①
たところプロデューサーの方が名刺にある沼島の上立神岩をいたく気に入り、ドラマのタイトルバックの画像として採用したいとの依頼があり、4月3日撮影に同行して参りました。当日は天候にも恵まれ、新谷先輩に

船をチャーターして頂き、まずは海から上立神岩を撮影しました。普段見ることが出来ない反対の海からの沼島の眺めに撮影隊（監督、カメラマン他）と共に驚き、感動して参りました。



撮影状況②
い機材を持って移動：上立神岩を陸からも撮影して参りました。この映像がタイトルバックになると聞き少し興奮を覚えました。国生み神話に縁のある名所ですから、ラッキーも多分にあるの



新谷号で海から撮影



海から見た上立神岩

影に同行致しました。これを機会に今後より一層淡路島をPRし、誘致に繋げていきたいと考えております。

もはや歴史的文化財

撮影側の方が淡路島に期待されるものとして、一昔前の光景が挙げられます。中でも住居・町並みの依頼をよくいただきます。萱葺き屋根の古民家などは特に依頼を多くいただきます。しかし先日淡路市長沢にあることを教えていただき調べてきました。



慶野の松原で撮影

数年前までは住人がいたようですが今では廃墟となっており、痛みも目立ちだしている状態でした。不思議なもので住民のいない建物は一気に痛みます。震災で古い町並みの多くをなくしてしまった淡路市では特に貴重な存在かと考え、ちょうど島外からの移住と古民家活用をあわせた計画を立てている淡路市にこの民家を活用してもらうことを陳情してまいりました。「外から見た目」に込めるのがフィルムコミッション活動であり、それを島内の皆さんに伝えていくことも淡路島フィルムオフィスの仕事として活動させていただきます！



淡路市へ陳情

ですが淡路島フィルムオフィスとして淡路青年会議所があったからこそ採用され、淡路島の魅力の一つを発信することができたことと喜んでおります。（一番喜んでいるのは名刺を作った国生み神話好きの総務広報委員長ですが…）

また同日夕方にはオーブニング映像で主演俳優たちが浜辺で遊んでいるシーンを慶野松原で撮影されました。数十名のスタッフ・俳優の皆様にもまじって夕日の中の撮影に同行致しました。

才花出向者の動き

（社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 地域のアイデンティティ創造会議議長）

- 4月11日（水） 加古川・高砂JC 公式訪問 研修例会
- 23日（月） 神戸・尼崎JC 公式訪問
- 26日（木） 加西・西脇JC 公式訪問
- 28日（土） 相生・赤穂・龍野JC 公式訪問

畑野出向者の動き

（社団法人日本青年会議所 近畿諸国歴史検証委員会）

4月13日（金） 第4回 委員会（高松）

JC NOW

・審議事項

- (1) 新年会事業報告並びに決算報告の件
- (2) 総合資料作成事業報告並びに決算報告の件
- (3) 会員名簿作成事業報告並びに決算報告の件
- (4) 2月危機管理意識向上例会事業報告並びに決算報告の件
- (5) 兵庫ブロック協議会公式訪問役員懇談会事業報告並びに決算報告の件
- (6) 新入会員セミナー事業報告並びに決算報告の件
- (7) 準会員承認の件
- (8) 準会員配属の件
- (9) 4月Jaycee研修例会の件
- (10) Jaycee研修例会の件
- (11) 第13回わんぱく相撲淡路場所の件
- (12) 淡路島フィルムオフィス提出金の件
- (13) 45周年記念式典・祝賀会実行委員会・提出金の件

・協議事項

- (1) 5月健康増進例会の件 【2/2】
- (2) 6月コーチング例会の件 【1/2】
- (3) Jaycee研修事業の件 【1/2】
- (4) 青少年育成事業(仮称)の件 【1/3】

編集後記

年度が変わって4月に入り暖かい日が続くようになってきました。地球温暖化のせいか花粉が例年以上にとんでおり、しかも黄砂が重なり幻想的？な真っ白な空が淡路をおおった日もありました。

花粉と黄砂を同時に吸い込むと花粉症の人はひどくなり、花粉症でない人は来年発症しやすくなると聞きました。暖冬：環境問題について考えさせられます。

話は変わりますが、本年度の淡路JCの名刺から上立神岩の撮影が決まり、来週から放送されることになりました。手前味噌ですがデザインに悩んで本当に良かったと感じております。これからは淡路島の役に立つようHP等で淡路JCそして淡路島を発信していきたいと考えておりますので皆様ご指導宜しくお願い致します。